



平成16年(2004年)

県内医療の中核を担う本館完成

～高度先進医療システムを整備～



2月24日～25日の内覧会には、
県内各地から約1,100名が訪れた



2月28日～3月1日にかけ医療機器を移設
3月6日～7日に入院患者の移動を行った



本館のオープンとともに
電子カルテシステムも導入した



▲本館は現在でも県内医療の中核を担っています



▲県内の自治体、医療関係者ら約230名が参加し竣工を祝った

平成16年(2004)2月、約3万㎡の延べ床面積を誇る、8階建ての新しい本館が完成しました。県内医療の中核を担う総合病院として高度先進医療システムを備え、新たに形成外科を加えた23科体制を整備。本館屋上にはヘリポートを設置し、災害時への対応機能もより一層強化しました。2月21日に竣工式が開かれ、同月24日に行われた内覧会には県内各地から多くの人が訪れました。また、3月8日に入院・外来業務を開始すると同時に、電子カルテシステムを導入しました。

平成16年の出来事

- ・新潟県中越地震が発生
- ・1万円札が福澤諭吉、5千円札が樋口一葉、千円札が野口英世の新紙幣の発行開始
- ・日朝首脳会談が行われ、北朝鮮による拉致被害者の家族が帰国
- ・東北楽天ゴールデンイーグルスが誕生
新規参入の球団誕生は50年ぶり



福井赤十字病院